

③当初の段階での慎重審議をすべきで、安易な設計変更をすべきでないと考えている。

今後、出されたものに対して十分な検討を重ね職員一同気をひきしめていく。

**問** 岡田議員

むささび温泉はオープンして12年が経っている。現在までの修繕料と今後の見通しは。

**答** 和田吾北総合支所長

平成28年度末までで、2864万6000円だ。今後も、雨漏り修繕などを計画している。

**問** 井上(敏)議員

伊野小学校の改築工事で、教育長の答弁では、請負金額の1割以内なら次々と変更しても差し支えないとの考えがある。当初の設計段階から、関係者と十分な協議をしていれば変更する必要はない。これは庁内全体にも言えることだ。

また、都市計画と公園、学校・幼稚園建築での認識不足や、他の課との連携・調整不足で、工事の遅延や無駄な経費の支出もある。町長、これらを踏まえ厳しく指導すべきだ。

**答** 池田町長

言われるとおり追加工事は1割という考え方は捨てるべきだ。また、各課との連携や調整が図られていないと指摘もされた。今後は、工事計画の段階から知恵を集結し、かつ、情報収集を行い庁内で共有して、慎重な審議を重ねた上で事業を執行していく。

## 議員発議議案

(発議第8号)

公共施設等調査特別委員会設置

提出者 岡田 竜平  
賛成者 森 幹夫

【目的】(原文)

公共施設マネジメントの

考えに立ち、持続可能な調整の実現と断続的で質の高い行政サービスの提供のために、公共施設等に対する将来需要を見通した計画的な施設整備や適正配置等に向けた調査及び議論を行い、今後の公共施設のあり方、休・廃止施設等の有効活用、指定管理者制度のあり方について、検討することを目的とする公共施設等調査特別委員会を設置するものである。

【委員の定数】 9人

【委員の任期】 4年間

【期間】

目的達成までとし、議会閉会中も活動することができ。

**問** 池沢議員

①特別委員会の具体のプロセス及び着地点は。そのための方策は。  
②いの町公共施設等総合管理計画との整合性は。  
③各常任・特別委員会で所管事務調査が行える。  
発議の必要性は、どこにあるのか。

④指定管理施設を趣旨説明で大きく取り上げているのは、なぜか。

**答** 岡田議員

①平成32年度が一つのめどだが、その後も適宜検討する必要がある。方策は設置後、委員会内で検討していく。

②特別委員会としてチェック・要望・提案していく。

③町にとって公共施設の維持管理は特に重要で、専門的に調査・議論していくため。

④例として挙げた。

**問** 筒井(一)議員

公共施設等調査特別委員会の設置目的の内容を聞くと、議会に設置されている3常任委員会、総務・民生・産経の委員会、また病院関係では、仁淀病院運営特別委員会など、現在設置されている委員会で議論できる。常任委員会で議論したことが公共施設等調査特別委員会でも議論され、二重に

なる可能性がある。二つの委員会での結論が違う答えになることもあるが、提案者はどのように考えているのか。

**答** 岡田議員

その考え方であれば仁淀病院運営特別委員会その他委員会も常任委員会で議論できる。だが特別委員会同様公共施設に関する課題も、重要と考えているので必要ないとは考えていない。

**問** 筒井(一)議員

いの町議会では、特別委員会の定数は8人で行ってきたが、今回委員の定数を9人にした理由を聞く。

**答** 岡田議員

今任期から、会派代表者会は9人で、議会運営委員会も9人に変更されたので今回提出した委員会も9人が適当であると考えている。